

保護者の皆さまのご協力も大切です

家庭ではどういったお手伝いができるでしょう？

- 粘土を使って長さの異なる「へび」を2匹作ります。一匹は「短い」、もう一匹は「長い」ということを一緒に比較し、話してあげましょう。
- 粘土で同じ長さのへびを2匹作ります。そのうち一匹をジグザクまたは曲がった形にして、お子さまに尋ねてみましょう。「どちらのへびの方が長いかな？」



- お子さまの手または足の周囲を縁取ってボール紙に描き、切り抜いてください。これを使って、テーブルまたはベッドなど物の長さを測りましょう。測る前に、ベッドの長さは「手」の長さの何倍あるか推測させてみてください。
- 傾斜のある場所でおもちゃの自動車を転がし、車の長さにして何倍進んだか測ってみましょう。
- テーブルなど、ものの周りを歩いて、一周するには何歩必要か話し合ってみましょう。
- お子さまの背丈を定期的に測り、その成長をグラフに記録しましょう。
- 家族みんなの背丈を測り、誰が誰より「高い」または「低い」か比べてみましょう。
- 植物の種を植える際、お子さまと一緒に棒を用いて、それぞれ植えた場所の距離を測りましょう。
- 新聞紙を用いて、テラスやテーブルなどの面積を測ります。全体を覆うには新聞紙が何枚必要か一緒に数えましょう。

保護者の皆さまのご協力も大切です



- 紙の上にくねくねした曲線を描くか、またはひもを曲線状に糊づけしてください。お子さまに見せ、「線で囲まれた」部分の内側に色を塗らせてみましょう。
- 新聞紙を床の上に広げます。その上に、本が何冊収まるか一緒に数えましょう。
- プレゼントを一緒に包装しましょう。包むプレゼントの大きさに対し、包装紙の幅や長さが十分あるかどうか話し合ってみてください。
- テーブルクロスや、車のカバーの大きさについて話し合みましょう。
- お子さまに、ペンキの缶に表示されている塗装可能面積を見せてください。塗装する壁の大きさに対して、ペンキが何缶必要か話し合ってみましょう。
- 色のついたスクラップ紙と糊、空き缶、コーンフレークの箱などをいくつか用意してあげましょう。お子さまは箱や缶にスクラップ紙を貼りつけて覆い、色とりどりに飾りつけて遊ぶことができます。